



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月28日

我孫子市小中一貫教育だより
第391号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「湖北台未来へつなぐプロジェクト」～西小・6年生「職業人講話」

湖北台西小学校6年生総合的な学習の時間でオリジナルカリキュラムに位置づけた授業を職業人講話という形で実施しました。

最初に児童が一堂に会し「始めの会」をリーダーが中心となって行い、講師の先生方の紹介と児童の意欲を喚起するような話がありました。会の後、リーダー達が6カ所に分かれる講師の先生方に丁寧にあいさつをし、各教室に案内。それに続いて子ども達は自分で希望・選択した職業の講話が行われる教室に移動していきます。3コマの授業が組まれており、子ども達は第1から第3希望の講話を聴くことができるようになっていました。

松戸リハビリ病院からは2名のスタッフから理学療法士や言語聴覚士の仕事について説明し、実際にリハビリ用の装具を付けたりしながら、体を動かして体験的に進めていました。農業を基本に、そこから様々な創意工夫をした事業を展開している会社からは、商社から一念発起して転職したご自身の体験を基に、「夢を叶えるために」というテーマを中心とした話がありました。地元の建設会社は、建築業という仕事の概要を動画等で児童に説明した後、クイズ形式にして楽しそうに対話しながら理解を深めさせていました。自動車販売会社からは店長さんを始め、業務が異なる5名の方々が参加。店長さんからは「クラスと同じで一緒に働いている仲間が存在が大切」という話がありました。保育士は希望者が多く8人の児童がいました。また、いずれの職場にも児童は質問事項を記載したシートを持ち、必要に応じてメモをとりながら自分事として真剣な眼差しで授業に臨んでいました。

3コマの授業が終了し、終わりの会を全体で実施。児童からの感想が発表された後、講師の先生方一人ひとりから子ども達への励ましの言葉があり、うなずきながら聞いている児童の姿が印象的でした。同じ職業人講話でも一方的に話を聞くだけでなく、少人数で対話して交流しながら進めていくことの良さが際立った授業であったと思います。



「キャリアでつなぐ白山中区カリキュラム」～小・1年生「ようこそ 一小ランドへ」

我孫子第一小学校の1年生がオリジナルカリキュラムの一環で地域の保育園との交流会「ようこそ 一小ランドへ」を実施しました。1年生の児童たちは、事前に生活科の授業でどんぐり、まつぼっくり、落ち葉、など秋らしいものを収集しオリジナルの遊び道具を制作しました。遊びは4つのブース分かれており、「あきのボーリング」「まつぼっくりけんだま」「どんぐりマラカス」「どんぐりごま」が準備されていました。ボーリングのピンやどんぐりマラカスにはカラフルな色付けがされており一小児童のオリジナリティあふれるものでした。

はじめの会では、1年生から歌のプレゼントがあり「みんなはひとりのために、ひとりはみんなのために」と年長組のみんなにやさしく歌いかけました。ニコニコしながら歌を聴いている園児たちからは、この会を楽しみにしている様子が溢れていました。温かい雰囲気になったところで、いよいよ1年生が年長児をエスコートして一緒に活動する時間です。



「どれがいい？」年長児にやさしく問いかける1年生たちの姿がそこら中で見かけられ、年長児のみんなも様々な遊びを楽しんでいました。お店屋さん担当の児童は、みんな大きな声を出してはりきってお店の当番をしていました。手をつないでやさしくエスコートする姿、ルールの説明をしっかりと伝える姿、「じょうずだね！」と拍手してほめてあげる姿どれをとっても児童たちの主体的な活動を思わせる交流行事でした。